



おぐに議会だより

第41号

令和3年2月10日

- 令和2年 第4回臨時会
- 令和2年 第5回臨時会
- 令和2年 第4回定例会
- 町政を問う(一般質問)

表紙の写真

＜2021年新春 小国両神社＞

令和2年第4回臨時会 令和2年10月8日

10月8日(木)、今年4回目の臨時会を開き、専決処分の承認・条例改正・補正予算について審議しました。

【専決処分の承認】

- 承認第6号 一般会計補正予算(第8号) (令和2年9月23日専決)
…壱岐市からの派遣職員受入れ経費78万円を追加し、総額100億945万円とする

【条 例】

- 議案第48号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
…災害派遣を受け、派遣された職員に対し災害派遣手当を支給する必要があることから、災害派遣手当等の規定を加える

【予 算】

- 議案第49号 一般会計補正予算(第9号)
…721万円を追加し、総額100億1,666万円とする
派遣職員給与負担金等523万円・保育園空気清浄機購入費158万円ほか

令和2年第5回臨時会 令和2年11月30日

11月30日(月)、今年5回目の臨時会を開き、専決処分の承認・条例改正について審議しました。

【専決処分の承認】

- 承認第7号 一般会計補正予算(第10号) (令和2年10月16日専決)
…福岡市からの派遣職員受入れ経費及び派遣職員給与負担金等648万円を追加し、総額100億2,314万円とする

【条 例】

- 議案第50号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
…人事院勧告に伴い、期末手当の額を、期末手当基礎額に100分の130を乗じて得た額とあるものを、100分の125を乗じて得た額と改める

令和2年第4回定例会 令和2年12月7日～12月9日

第4回定例会を12月7日(月)から9日(水)まで開き、条例改正や補正予算、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦及び請願について審議しました。

【条 例】

- 議案第51号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
…個人所得課税の見直し(給与所得控除や公的年金等控除から基礎控除へ10万円の振替)に伴い、国民健康保険税の軽減判定に影響が生じないよう軽減判定基準の見直しを行う

○議案第52号 介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

…租税特別措置法及び地方税法の改正による、延滞金の割合の特例引下げ及び名称等の改正

○議案第53号 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

…租税特別措置法及び地方税法の改正による、延滞金の割合の特例引下げ及び名称等の改正

○議案第54号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例

…省令改正により、管理者に主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合については、介護支援専門員を管理者とすることができるとする

○議案第55号 放課後児童健全育成事業施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

…使用できる者の範囲を、町内の小学校に在学中の児童で、保護者の就労、疾病、その他の理由により、昼間家庭において適切な保護が受けられない児童とする

○議案第56号 部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の一部を改正する条例

…人権擁護や差別解消に関する4法律を明記し、必要に応じ実態調査・意識調査を行い、人権教育の推進や啓発活動を行い人権擁護の社会づくり、相談体制の整備に努めるとする

【 予 算 】

○議案第57号 一般会計補正予算(第11号)

…5億6,300万円を追加し、総額105億8,613万円とする

コロナ対策関連1億2,181万円（プレミアム飲食券業務委託料1,033万円、鍋ヶ滝予約システム実証実験業務委託料2,000万円、湯ったり満喫宿泊助成金6,500万円リスタートイベント補助金1,180万円、温泉地賑わい創出補助金500万円など）、財政調整金積立金2億2,000万円、ふるさと寄付金謝礼等4,000万円、災害廃棄物処理委託料6,500万円、道路改良工事2,636万円、ほか

○動議 議案第57号 一般会計補正予算(第11号)に対する修正動議

…第11号補正5億6,300万円から鍋ヶ滝予約システム実証実験業務委託料2,000万円を削除し、総額105億6,613万円とする

○議案第58号 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

…保健指導事業委託料などで172万円を減額し、総額10億8,255万円とする

○議案第59号 介護保険特別会計補正予算(第2号)

…介護給付費準備基金積立金など1,330万円を追加し、総額12億2,171万円とする

○議案第60号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

…システム改修負担金など15万円を追加し、総額1億2,068万円とする

○議案第61号 水道事業会計補正予算(第1号)

…収益的支出予定額の営業費用に20万円追加し、営業費用総額1億3,055万円とする
資本的支出予定額の建設改良費に52万円追加し、建設改良費総額1億2,916万円とする

【人 事】

○同意第10号 固定資産評価審査委員会委員の選任

…任期満了に伴い、現職の松本和昭氏が再任されました。

松本 和昭

昭和27年2月16日生まれ
(上田)



○諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

…人権擁護委員の候補者として現職の北里康二氏が推薦される事となりました。

北里 康二

昭和31年4月20日生まれ
(北里)



【請 願】

○請願第2号 杖立温泉地域における排水路整備及び避難路確保に関する請願書

請願理由(抜粋)

豪雨時には温泉地内の各所より滝のような水が流れ、指定の避難所まで行く通路は危険な場所が多発します。7月の豪雨では避難所までの町道に山水があふれて道を渡ることすら出来ない状況でした。排水路の整備を早急にご対応頂ければ、避難所へのルートも安心して通れ、住民の安全確保につながると思われます。

請願事項

- ①杖立地域における豪雨時の多量の山水による浸水被害を避けるための排水路の整備
- ②防災センターへの避難道の確保



採決結果一覧表

(事件名欄の名称は一部短縮して記載しているものがあります)

	議案番号	事件名	採決結果	時松昭弘	江藤理一郎	穴見まち子	久野達也	児玉智博	大塚英博	西田直美	松本明雄	熊谷博行
(10月8日) 第4回臨時議会	承認第6号	専決第6号 令和2年度一般会計補正予算(第8号)	承認	全員賛成								
	議案第48号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決									
	議案第49号	令和2年度一般会計補正予算(第9号)	可決									
(11月30日) 第5回臨時議会	承認第7号	専決第7号 令和2年度一般会計補正予算(第10号)	承認	欠席	全員賛成							
	議案第50号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決		○	○	○	×	○	×	○	○
12月定例会(12月7日～9日)	議案第51号	国民健康保険税条例の一部改正	可決	欠席	全員賛成							
	議案第52号	介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正	可決									
	議案第53号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決									
	議案第54号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正	可決									
	議案第55号	放課後児童健全育成事業施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決									
	議案第56号	部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の一部改正	可決		○	○	○	×	○	×	○	○
	議案第57号	令和2年度一般会計補正予算(第11号)	可決		○	○	○	×	○	×	○	○
	動議	令和2年度一般会計補正予算(第11号)に対する修正動議	否決		×	×	×	○	×	○	×	×
	議案第58号	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決		全員賛成							
	議案第59号	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決									
	議案第60号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決									
	議案第61号	令和2年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決									
	同意第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意									
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任		賛成多数							
	請願第2号	杖立温泉地域における排水路の整備及び避難道確保に関する請願	採択									
					全員賛成							



特別委員会の開催

◆議会活性化特別委員会の開催

12月3日（木）におぐに町民センター3階議場で、令和2年第2回議会活性化特別委員会を開催し、常任委員会の再編等について審議した。

<現在の常任委員会>

総務文教常任委員会	総務課、会計管理室、議会監査委員事務局、選挙管理委員会、 税務課、政策課、教育委員会、住民課、福祉課、保育園
産業常任委員会	産業課、建設課、情報課、農業委員会

<次年度改正案>

総務常任委員会	総務課、会計管理室、議会監査委員事務局、選挙管理委員会、 税務課、政策課
文教厚生常任委員会	教育委員会、住民課、福祉課、保育園
産業常任委員会	産業課、建設課、情報課、農業委員会

※議長を除く9名の議員が1人2委員会に所属する。

◆人権啓発・男女共同参画特別委員会の開催

12月3日（木）におぐに町民センター3階議場で、令和2年第1回人権啓発・男女共同参画特別委員会を開催し、女性議会（仮称）の開催について決定し、開催時期等については引き続き検討することにした。

災害現場視察・勉強会の開催

◆黒淵犬防田地域太陽光発電所災害現場視察

7月豪雨の土砂災害を受けた住民から、議会としての対応を求める要望書が10月29日に提出されました。11月16日（月）に黒淵の太陽光発電所周辺の災害現場を視察、提出者より被害状況の報告を受けました。

◆太陽光発電の要望書についての勉強会の開催

12月9日（水）におぐに町民センター3階議場で、黒淵犬防田地域の太陽光発電所周辺の災害における要望書について勉強会が開催され、政策課よりこれまでの経緯等について説明を受け意見交換を行ないました。



一般質問一覧表

P 7 下	熊谷 博之	① コロナウィルス対策事業 ②ライトアップ事業 ③大観峰トンネル
P 8 上	児玉 智博	① 7月豪雨災害対策本部 ②災害復旧工事
P 8 下	西田 直美	① 地域未来塾 ②中学校に外国人講師を ③教育委員の役割拡大
P 9 上	久野 達也	① 地域振興と過疎対策
P 9 下	大塚 英博	① 杖立温泉の復興と杖立川沿線の防災対策 ②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響 ③今後の小国町の財政運営
P10上	穴見まち子	① 不妊治療の保険適用 ②保育園の申込みと7月豪雨に伴う対応
P10下	江藤理一郎	① 福祉用具貸与の例外給付 ②中学校のスクールバス化

町政を問う【一般質問】



熊谷 博行

大観峰トンネルの実現化

園私が議員になって5年が過ぎ、私で3人目の質問と思う。5年前は笑い話、もしくは夢みたいな話だった。しかし今回の二重峠トンネル工事の掘削技術は素晴らしいものと思う。約3,700メートルの距離を約3年と言う工期で完成するとは驚くばかりだ。開通後阿蘇への観光客は以前を凌ぐ勢いとのことで、如何に道路が大切か再認識させられた。40年前国道212号バイパスが完成した時のようで、次はトンネルと思う。

南小国町9月議会でも大観峰トンネルの質問が出て、高橋町長は「小国町長と協議し、期成会を設けるよう検討する」と答弁したそうだが、町長この件をどのように捉えているか、今後の考えをお聞きしたい。

【町長】大観峰トンネルの構想は、かなり昔の段階からあると聞いている。しかし現時点ではまだ期成会等々の動きはない。商工会それから両町の観光協会で話が進んでいるようだ。そこが主軸になって、発起人の会を起こしていると聞いている。この流れからすると、私も南小国町長としてしっかりと取り組んでまいりたいと意思表示させていただく。園ここ数ヶ月、国会議員国政報告会等に参加して感じるのがコロナ感染の話の次は必ず二重峠トンネル開通の話だ。その中に以前は、話も無かった大観峰トンネルの話が上がる。2040年人口が4,000人を割るとの予想を覆す為には道路整備がマストと考える。人が集まるまちづくりを今後していただきたいが如何か。

【町長】ご提案の案件、しっかりと捉えさせていただく。道路を中心とした今回の質問非常に大事と思う。命を守る道、それから流通・観光と用途が多岐にわたる。しっかりと取り組ませていただく。



児玉 智博

災対本部会議録、公文書で残せ

【町長】7月豪雨の災害対策本部の会議録等を開示請求したが、災害対策本部に関する公文書は存在しないとして、非開示の決定が出された。災害対策と公文書管理の2つの側面からあまりにいい加減だ。なぜ会議録を作成しなかったか。

【総務課長】条例や規定に会議録を作る決まりがない。小さい町村でなかなかそこまで手が回らない。

【町長】会議に出席した職員が作成したメモがある。消防団からの連絡事項に「消防団に早めに情報をもらうためにも、災害対策本部はもっと早く設置したほうがよかった」と書いてある。こういう意見もしっかりと残し、次に備えるためにも公文書に指定して残していくべきでは。

【町長】決済してないので、公文書ではないと判断している。

【町長】小国町情報公開審査会が今後の災害対策本部会議では会議内容を記録するように促している。今後は会議録はどうするか。

【町長】記録は残すが、公文書であるかどうかは大事なのではない。

【町長】公文書は期間も定めてきちんと保存されるが、公文書ではないとなれば、担当者や町長が変わるうちに、気付けばどこかにいってしまい後々の検証が出来なくなってしまう。公文書として大事に管理していくべきだと思うが。

【町長】議員の提案に則ってするのかどうかは別として、災害対策はきちんとさせていただく。

【町長】災害対策本部は災害対策の中枢に位置するものとする。その時々災害対策本部でどんな事が話され、どういう方針が出されたのかを事後的にも検証し、行政内部で経験として蓄積していくために会議録を公文書にする事は出来ないのか。

【町長】現時点では公文書として存在しないが、今後は執行部でしっかりと判断したい。



西田 直美

地域未来塾 中学校に外国人講師を 教育委員の役割拡大

【町長】昨年来小国の子ども達に無料塾の提供をお願いしてきた。まだ実現には至っていないが、中3の希望者に3か月間小国地域未来塾を開催すると聞き嬉しく思う。一方小国高2年生が国際交流や学習の予習・復習が出来る無料塾の実現について相談に来た。自ら考え行動する高校生がいることは頼もしい。高校でアンケートを取り、希望者が多いことも分かった。未来を担う地域の子ども達のためにできる限りの教育環境を整えるのは大人の責務だと思っているが教育長の見解は。

【教育長】昨年度は地域学校協同活動に力を入れた。無料塾をまず中3から始め、さらに発展させていかなければと思っている。高校は母体になる組織が教委を含め町に呼びかけていけば考えを進

展させることが出来るのでは。

【西田】実現は時間がかかるが、子どもはすぐに大きくなる。機会を逃さぬよう出来るだけ早く実現してもらいたい。

【町長】中学校に英語の外国人講師(ALT)がいなくなって3年。外国人なら誰でも良いわけではないが、有能な外国人がいるメリットは大いにある。来年度実現の可能性は。

【教委事務局長】阿蘇郡内でALTがいないのは小国だけで、中学校からも要望されているので町としても前向きに検討したいが予算等もある。

【町長】財源も必要だが、本当に必要なのであれば町としては財源を見つけるのが本当のところだと思う。

【町長】生徒に問題など生じたときに、地元をよく知る教育委員の方々が、教師と保護者の間に立って問題解決の仲立ちをするようなことは出来ないだろうか。

【教育長】教育委員の仕事を拡大解釈すれば不可能ではないかもしれないが、教育委員の本来の仕事は教委のチェックや助言。地域の保護者とのパイプ役はPTA役員会や学校運営協議会が務めることになっている。



久野 達也

地域振興策と過疎対策

【町長】閏コロナ過の中、7月豪雨災害と二つの大きな災害に見舞われた。これらの緊急対策に対応しながら、マニフェストでも述べていた町の未来図を描くべき地域振興策を、どう両立され整理して推進される考えか。

【町長】たくさん課題もあるが、まずは災害対策とコロナ関連事業が軸となる。加えて企業や大学等との連携を整え、地域の皆さんとのパートナーシップに基づくSDGs未来都市に向かっていく体制づくりで、いろいろな課題の解消に邁進したい。

【町長】今年も国勢調査の年であった。これまでの推移でも人口減少・少子高齢化と過疎化が進行している。地域振興策としての過疎対策について、

これまでの検証と新過疎法にむけての考えは。

【総務課長】令和2年国勢調査人口はおよそ6,597人で前回より590人減少である。過疎対策として過疎対策事業債が5カ年で10億3,990万円となっており、財政面でも効果的に事業実施ができたと考えている。これからは新たに持続的な発展に向け、新過疎法に沿った計画及び対策事業の詳細を詰めていく。

【町長】過疎対策としての地域おこし協力隊や企業人交流プログラム等の活用状況や検討は。

【政策課長】地域おこし協力隊は平成26年から制度活用し、現在3名が活動中である。これまで5名が任期終了し、4名が定住している。

【情報課長】企業人交流プログラムは有利な制度であるとの認識を持っており、事例聞き取り等も行い検討したい。

【町長】国では総務省所管や内閣府所管の部分もある。先だって坂本内閣府特命担当大臣とも話をさせていただき、総務省等を訪問した。

【久野】今後も迅速なコロナ対策・災害復旧を図りながら、地域振興策・過疎対策等と多方面での推進もお願いしたい。



大塚 英博

杖立温泉の復興と防災対策！

【町長】閏両岸は山が切り立ち、国道沿いは落石と土砂崩れ、川は増水・倒木と全ての災害の中で逃げ道のない孤立の可能性のある観光地という負のイメージを、安全で安心、ゆっくり滞在できる観光地とする為に、杖立温泉の復興に向けての考え方と取り組みについて問う。

【町長】河川の増水に向けて、杖立温泉の中の河川掘削を進めている。国や県と一緒に復旧、復興事業に取り組んでいく。街路灯など杖立温泉内の環境整備に努める。

【町長】新型コロナウイルス感染症拡大による影響に向けた、経済対策事業について伺う。

【町長】新型コロナウイルス感染を受け、休業の支援給付金、家賃・事業継続・宿泊施設や学校関係

も含めた次世代に向けての支援等、これからも影響を緩和させるためにもしっかり取り組んでいく。

【町長】新型コロナウイルス感染症拡大と7月豪雨災害による影響を受けて、今後の財政運営について伺う。

【町長】財源をしっかり確保していく手順をしっかり踏まえながら、次の施策を打たせていただく。

【総務課長】今年に比べてかなり厳しくなると思う。各課には5%位の減少で予算を立てるよう指示している。



現在の杖立温泉



穴見 まち子

少子化対策を問う

国政府が2年後に不妊治療の保険適用を掲げているが、日本の出生数は100万人を切って86万5,000人程度である。全国民が前向きに国の少子化対策について考えるべきと思うが町に相談があった場合はどう対応するのか。

【福祉課長】町の相談窓口としては保健師による対応となり、現行の制度では体外受精などの一部助成がある。要件としては夫婦の合計所得が730万円未満で、女性の年齢が43歳未満の方となっている。支給内容は初回が30万円、2回目以降が15万円、通算で6回を限度としている。ただし、40歳以上は3回を限度。治療ができる医療機関は県内7ヶ所で、うち6ヶ所が熊本市内。本町ではその制度に合わせて、このとり事業として自己負担金から県の交付金額を差し引

いた額を助成の対象として年度当たり10万円を上限に助成している。実績としては平成23年度事業開始から十数件の助成で、数名の方が出産している。

国触れにくい部分ではあるが、今後、町として何らかの予算を組む考えはないか。

【町長】公立病院等や坂本哲志地方創生大臣と情報の共有を図り、関係機関と相談・協議していく。

国今年7月の豪雨後に下城保育園の園児を宮原保育園に登園させたと聞いたがその時の状況は。

【保育園長】7月6日の雨は降り方が激しく夕方には水位が急激に上がり危険があると判断し、保護者に迎えをお願いした。翌日以降も危険性が高いと判断し、保護者に相談して約1か月間の宮原保育園登園をお願いした。結果的には有効であったと思っている。

【町長】子ども達の安全を最優先に考え、7月末まで宮原保育園へ登園をお願いした。

国宮原保育園の増築の少しでも早い完了をお願いしたい。

【保育園長】新型コロナウイルス感染症包括支援事業補助金で保育室2部屋の増築を計画しているが、8月までには完成予定となっている。



江藤 理一郎

福祉の充実と 中学校の スクールバス化

国要介護1に認定され福祉用具を必要とする場合、国は福祉用具対応の例外給付を認める施策を進めているが、本町でその制度を町民が受けられていないケースがあると聞かいか。

【福祉課長】本町で申請を受付け、審査票を作成した上で判定しており、本人の自立度の確保の向上に繋がるような支援・給付ということで、総合的な視点で判定を行っている。

国ケアマネや家族が福祉用具の貸与が必要と判断した時には区分変更申請をすることがあるが、関わる職員の人件費、主治医意見書等の発行費用を含めると介護保険料による負担額と変わらない場合がある。希望者も年間最大3名程であることから判定要件を緩和することはできないか。

【福祉課長】現在は考えていない。あくまで自立に繋がる様な支援をする方向で判定していく。

国再申請ということは余程の事情があるということ、利用者や家族も困らないような対応を検討して欲しい。

【福祉課長】被保険者に即した形での支援につなげ、公正で適正な業務に努めていきたい。

国中学校寄宿舎と小学校スクールバスの利用者状況はどうか。

【教委事務局長】寄宿舎は昨年度が26人、今年度は19人。10年間で20から30名程で推移。経費は約1,360万円で約175万円は一般財源から。スクールバスは昨年度153人、今年度145人の児童が利用。経費が4,530万円で約994万円は一般財源から。学校までの距離が2キロ以上の小学1年から中学3年の子どもを持つ保護者にスクールバス及び寄宿舎の存続についてのアンケートを実施し、111世帯からの回答を得た。結果として約4割が寄宿舎存続を希望し、スクールバス利用希望は約8割であった。

【町長】コロナの影響はあるができるだけ早い段階でスクールバスの運行をスタートし、寄宿舎も残す考えだ。

小国町で活躍する注目の人や団体を紹介するシリーズ。第2回目は黒淵戸角の福祉タクシー「コスモスタクシー」の田上泰和さん(73)を紹介します。



代表の田上さん(左)と中村さん(右)

小国郷初の「福祉タクシー」

「福祉タクシーを始めようと思われたきっかけを教えてください。」

「私は平成7年(1995年)

に福岡から小国町に帰って来たのですが、一番に感じた印象が『高齢者が多いな』という事でした。その時から、これから福祉タクシーのニーズが増えて行くだろうと考えていたのですが、20年経つていよいよ必要性が高まって来ましたので、それなら自分で始めようと思い立ちました。現在、ドライバーが私と中村進さん(67)の2人、車は普通車と軽自動車1台ずつでやっています」

「平成27年(2015年)の9月から始められたという事です。が、どのような準備をされたのでしょうか。」

「福祉タクシーはお客さんに乗り降りしてもらう際には必ず介助が必要になりますから、介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)を修了して、介護の基本的知識・スキルを身に付けました」

「実際にどのような方がどのような目的で利用されていますか。」

「福祉タクシーと言っても介護保険などの公的サービスではありませんので、誰でも利用出来るのですが、南小国町のタクシーチケットが利用出来ますので、一番多いのは南小国町のお年寄りです。通院や買い物、趣味のカラオケに出掛けるなど色々な目的で利用してもらっています。小国町の方は通院で利用される方が多いですね。熊本市内の病院へお連れする事もあります。また、病院や介護施設からの



バンドで引いて車いすに乗せる。

依頼で走る事もあります」
「どのような事を心掛けて営業されていますか。」

「うちの精神はお年寄りとお孫さんなどをお大切にする事。買い物でご利用頂く時には、車いすの方なら店内で車いすを押すのはもちろん袋詰めから荷物の積み下ろしまで必ずドライバーがするようにしています」

「今までで印象深い事は。『あるお年寄りをお孫さんの結婚式に福岡市までお連れした事です。それまで車いすが必要な人は家族の晴れの日も留守番するしかなかったけど、福祉タクシーがある事で一緒に祝い出たので、とても喜ばれました』
「今後の展望をお聞かせく

ださい。」
「何年かかるか分かりませんが、法人化出来ればと考えています。78歳までは私も頑張るつもりです(笑)。小国町のお年寄りにもより気軽に利用頂ければと思いますので、南小国町のような補助を議員さん方にはお願いしたいですね」



普通車はストレッチャーに寝たまま乗車できる。

田上泰和(たのうえ やすかず)さん
1947年小国町生まれ。熊本市や福岡市でバス、タクシーのドライバーなどを経験し、95年に帰郷。トラックドライバーなどを経て2009年から小国町のスクールバスに乗務。15年にコスモスタクシー開業。18年に中村進さんも加わり現在に至る。
連絡先：46-2636

小国高校生が議会を傍聴

12月議会を小国高校2年生4名が傍聴しました。高校生の町議会傍聴は初めてではないかと思われます。感想を聞いてみました。

佐藤 愛美さん

議場独特の雰囲気を感じられて良かったです。傍聴することで自分達の考えをより深めるきっかけになりました。

佐藤 こころさん

自分達が学校で始めた活動を議会で取り上げてもらっているのを聞いて、それが町やほかの人のためになっているのだと感じ感動しました。

鎗水 俊輔さん

なかなか出来ない経験をしました。議員のみなさんをはじめ、大勢の大人に町のこれからを考えていただいている姿を見て感謝しなければと思いました。

元主 彰さん

自分たちの取り組みは中学校でやってきたことのーランク上をしているのだと、これまでにない達成感を感じました。この取り組みを実現させたいという思いがより強くなりました。



議会を傍聴してみませんか



筑紫 孝子さん(北里)
(12月9日傍聴)

政治は私たちの生活に深く関わっています。女性も政治に関心を持つことが大切だと思います。若い人たちにも議会の傍聴に行くように勧めています。

議員は議会でどんな発言をしているの？
どんなまちづくりを考えているの？
議会に来てあなた自身でご覧ください！

※次の定例会は3月です。日程は広報おぐにや
おぐちゃんでお知らせします。

編集後記

2021年を迎え、気持ちも新たに議会だよりづくりに取り組む広報委員の面々です。町村議会広報コンクールの審査コメントを受け、町民の皆様により議会の様子が分かる紙面づくりにしようと、早速今号からレイアウトを一新しました。いかがでしょうか。読みやすいと感じていただければ幸いです。また難しい語句の説明も出来るだけ入れていこうと思っています。皆様からのご意見をお待ちしています。(西田)



【発行責任者】

議長 松崎 俊一

【広報委員会】

委員長 西田 直美

副委員長 江藤理一郎

委員 久野 達也

委員 児玉 智博



おぐに議会だより

〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1
TEL.0967-46-2119

発行/小国町議会
編集/広報特別委員会